

令和 8 年 1 0 月 4 日

千葉市教育委員会 様

千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会
会長 樋口 咲子

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和 8 年 5 月 2 1 日付け 8 千教総第 1 5 9 号による諮問のうち、標記の件について、下記のとおり答申します。

記

1 前提事項

2 の本委員会の評価のうち指定管理者の財務に関する事項は、市に提出された財務諸表等をもとに市が作成した「財務書類分析フォーマット」の資料のみに基づくものであり、かつ、当該財務諸表等が一般に公正妥当と認められる会計基準に従って適正に作成されていることを前提としているものであること。

2 本委員会の評価

（1）千葉市生涯学習センターにおける指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価
市による評価は概ね妥当であると認める。

また、指定管理者の財務状況については、施設の運営に直ちに支障をきたすような特段の問題は見られないことから、概ね安定して事業を実施できるものと考えられる。
その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 物価高騰や人件費などの変動に注意し、収支状況については引き続き留意いただきたい。

イ 支出の実績額が計画額を下回った項目があることは評価できるが、講座内容や調査研究等、本来お金をかけるべき項目については節減しすぎないように留意いただきたい。

ウ ボランティアコーディネート件数が目標を大きく上回るなど、成果指標に係る数値目標をおおむね達成している点は評価できる。

エ 施設が有料にもかかわらず、稼働率が高い点は評価できる。今後も快適で綺麗な施設の維持に努められるとともに、稼働率をより向上させるため、大きな団体利用が生じるイベントの企画などにも取り組まれない。

(2) 千葉市公民館における指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価

市による評価は概ね妥当であると認める。

また、指定管理者の財務状況については、施設の運営に直ちに支障をきたすような特段の問題は見られないことから、概ね安定して事業を実施できるものと考えられる。

その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 職員対応についての利用者の評価は良好であり、成果指標の目標もすべて達成している点は評価できる。引き続き丁寧な対応に努められたい。

イ 複数館をひとまとめにした評価となっているが、利用者からの声が、どの館に対するものなのかなど、分かるような工夫をしてほしい。

ウ 講座の企画内容や受講者数も各館で差異があるため、主に企画を担当される各館の主事同士で意見交換できる場を積極的に設けるなど、公民館全体の質の向上に努められたい。

エ コロナ禍において評価指標として導入されたオンラインを活用した講座数については、令和8年度から評価指標ではなくなったが、ニーズがある場合は、現地の公民館を利用する入口にもなり得るため、今まで培ったノウハウが無くならないよう、引き続き活用いただきたい。

オ 施設が老朽化しているにもかかわらず、施設稼働率 50%以上を達成するなど、成果指標の目標を達成するべく努力されている点は評価できる。公民館利用者が高齢化してきていると思われるため、小中高生を含む幅広い世代の利用促進を図られたい。

カ 職員対応が好評である一方で、多少の苦情も来ているとのことであるため、若い正規職員を雇用するとともに、定年退職後の再雇用者も雇用するなど、職員の採用についても課題として検討されたい。

キ 音楽での利用ニーズがある一方で、騒音問題が生じるため、今後の対応方法を課題として検討されたい。

ク 派遣研修は、公民館職員同士での情報交換が出来る場であり、先進的な取組みに係る情報も得られるため、研修を充実させるなど、引き続き職員の資質向上に努められたい。

ケ 公民館は、災害時に避難所にもなることから、日頃から地域の方が施設に親しむことも大事であり、学校との連携事業は引き続き継続されたい。

(3) 千葉市科学館における指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価市による評価は概ね妥当であると認める。

また、指定管理者の財務状況については、施設の運営に直ちに支障をきたすような特段の問題は見られないことから、概ね安定して事業を実施できるものと考えられる。

その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 指定管理業務以外にも多様な業務を行っている場合には、思わぬ損失が出た際に自己資本を十分に有しているかといった安全性の観点について引き続き留意いただきたい。

イ デジタル化が進み、従来ではできなかったことが、コストをかけずに効率的に出来るようになってきている。デジタル化を進めすぎて特定の方が排除されてしまわぬように留意いただきながら、全体として効用が高まるのであれば引き続き検討を進めていただきたい。

ウ 成果指標を意識した運営により、概ね指標に係る数値目標を達成できている点は評価できる。

エ 小学生を主なターゲットとしつつも、中高生の利用者が増えてきている点は評価できる。中高生から大人でも十分に楽しめる施設であることをより発信することで、更なる利用の促進に努められたい。

オ 県内の綺麗な星空と関連付けたプラネタリウムにより観光誘致を行うなど、県外へのPRにも取り組んでいただきたい。

以 上